

事 務 連 絡
令和 4 年 9 月 7 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課 御中
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課
附属学校を置く各公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

令和 4 年度高等学校各教科等教育課程研究協議会の開催について（依頼）

文部科学省では、学習指導要領の趣旨の実現に資するため、標記研究協議会を実施要項（別添 1）のとおり開催します。なお、「令和 4 年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会及び高等学校各教科等教育課程研究協議会の開催日程等について」（令和 4 年 4 月 25 日付け事務連絡）で御一報したとおり、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センターが改修工事で使用不可のため、独立行政法人教職員支援機構（つくば本部）の研修施設において実施します。

標記研究協議会に係る提出資料等については、下記のとおりとします。

記

1 提出資料

（1）参加者名簿

本協議会への参加者について、別添 1～別添 3 を確認の上、別紙様式 1－1 により提出すること。また、指定都市教育委員会は、別紙様式 1－2 も併せて記入した上で提出すること。

（2）教育課程に関する質問事項及び考え方

質問事項がある場合は、別添 4 を確認の上、別紙様式 2 により教育課程に関する質問事項及び都道府県市等としての考え方を付して提出すること。

※質問事項がない場合には、提出は不要。

（3）各部会における提出資料

別添 5 及び別添 6 を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成し、提出すること。

2 提出期限

（1）参加者名簿【別紙様式 1－1、（指定都市教育委員会のみ）1－2】…9月22日（木）

（2）教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式 2】…9月22日（木）

（3）各部会における提出資料【別紙様式 3～8、その他提出資料】…10月21日（金）

※提出期限までに提出が困難な場合は、事前に連絡すること。

3 提出方法

1の提出資料について、それぞれ下表の左欄の参加者の区分に応じ、右欄の者において取りまとめて提出すること。

なお、1(3)の「各部会における提出資料」については、別途の指定がない限り、部会の協議議題ごとに1つのファイル(例：国語部会の協議①の提出資料で1つのpdfファイル、同部会の協議②の提出資料で1つのpdfファイル等)にまとめて提出すること。(※詳細は別添5、6を参照のこと)

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

4 提出先

(1) 参加者名簿【別紙様式1-1、(指定都市教育委員会のみ) 1-2】

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】

教育課程課教育課程第三係(kyoiku@mext.go.jp)宛てに電子メールで提出すること。

その際、電子メールの件名は、「都道府県・指定都市番号【〇〇県(公)、〇〇市(公)、〇〇大(国)、〇〇大(公)、〇〇県(私)】高校協議会」とする。

(北海道教育委員会の例：01【北海道(公)】高校協議会)

(3) 各部会における提出資料【別紙様式3～8、その他提出資料】

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係(kyoiku@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」へアクセスできない場合は、提出ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添5を参照すること。

5 資料について

(1) 提出いただいた資料等は、各部会開催日の1週間前までに参加者宛て電子メールにて送付する予定である。参集する者に対して、部会当日に紙媒体の配布は行わないので留意すること。

(2) (1)の電子メールが各部会開催日の1週間前までに届かない場合には、教育課程課教育課程第三係に問い合わせること。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第三係(山本、高菅)

電話：03-5253-4111(内線3706)

電子メールアドレス：kyoiku@mext.go.jp

令和 4 年度高等学校各教科等教育課程研究協議会 実 施 要 項

1 目 的

高等学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する研究協議、情報交換等を行い、もって高等学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

2 主 催

文部科学省

3 共 催

国立教育政策研究所

4 部会構成

次の 16 部会とする。

「総則」「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「理数」「保健体育」「芸術（音楽）」
「芸術（美術、工芸）」「芸術（書道）」「外国語」「家庭」「情報」「総合的な探究の時間」
「特別活動」

※主として専門学科において開設される教科のうち、理数、体育、音楽、美術、英語については、本協議会の関連する部会において取り扱う。

※地理歴史部会は 11 月 29 日（火）午後～30 日（水）の 1.5 日間開催。

※情報部会は、職業に関する教科の情報部会との合同開催とする。

5 期 日 等

	9：30～15：30 (受付 9：00)	10：00～16：00 (受付 9：30)
11月21日（月）	高・家庭	高・保健体育
11月22日（火）		高・芸術（書道）、高・情報（※2）
11月24日（木）	高・公民、高・外国語	高・芸術（音楽）
11月25日（金）		高・総則
11月28日（月）	高・特別活動	高・理科
11月29日（火）	高・総合的な探究の時間	高・理数、高・芸術（美術、工芸）
11月30日（水）	高・国語、高・地理歴史（※1）	高・数学

（※1）1 日目（29 日（火））は 12：30 受付、13：00～16：00 で開催。

（※2）情報部会は、下記「7. 会場」にも記載のとおり、都内施設で開催予定。

※日程の詳細は、各部会開催日の 1 週間前までに参加者宛て電子メールにて連絡する。

※開会前・閉会後の公共交通機関及び会場周辺の混雑回避の観点から、上表のとおり開閉会時刻をずらして開催する。

※閉会の後、混雑回避（路線バス乗車時刻の分散）にも資するよう、最大 17:00 までの間、参集者対象・参加任意（入退室自由）のフリータイムを設ける予定である。担当視学官・調査官への質問や、参集者間での情報交換・意見交換等を想定するが、その持ち方については各部会当日に事務局よりアナウンスする。

6 開催方法

協議会は、Zoom を使用し、ハイブリッド形式（参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式）により開催する。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、オンライン開催に変更する可能性がある。

7 会 場

独立行政法人教職員支援機構研修棟

（〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地、TEL:029-879-6613）

※各部会の会議室割り当ては後日連絡する。なお、参集者数によっては、二部屋に分かれて実施する部会がある。

※情報部会は、職業に関する教科の情報部会との合同開催とし、都内の別会場にて開催予定。会場の詳細は、10月上旬目途に参加登録者に対し、参事官（高等学校担当）付産業教育振興室より連絡する。

8 参加者等

(1)参加対象者

①都道府県・指定都市教育委員会

各都道府県・指定都市において以下の者から選出することとする。

- i) 各都道府県・指定都市教育委員会の各教科等担当指導主事
- ii) 各都道府県・指定都市において指導的立場にある教員のうち、都道府県又は指定都市教育委員会の推薦する者

②国立・公立大学法人附属学校

参加を希望する国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等

参加を希望する都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

※本協議会は、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事を主な参加者として念頭においたものであり、協議内容も指導主事としての立場を踏まえた内容とする予定である。国立・公立大学法人附属学校及び都道府県私立学校担当部局、私立学校協会、私立学校等におかれては、そのような位置付けの協議会であることを理解の上、参加の可否を検討されたい。

(2)参加人数

参加者名簿に登録する者（協議に参加し、発言する者）については、上記(1)①～③の区分ごとに原則以下の通りとし、参加者は参加方法（参集又はオンライン）を選択すること。なお、ハイブリッド形式での開催に伴い、上記(1)に該当する他の者がオンラインでの参加者に陪席し、協議会の運営に支障のない形でその様子を傍聴することは差し支えないが、ミーティングへの接続（アクセス）数は、参加者名簿の登録者数に合わせることに。

- ・1部会につき1名とする。
- ・特段の事情により参加者を上記人数より増やしたい希望がある場合は、参加者登録の際に別途相談すること。

会場参集参加に係る連絡事項

1. 会場へのアクセス

- ・会場は、独立行政法人教職員支援機構（つくば本部）（以下「施設」）内の研修棟です。
- ・公共交通機関、自家用車での来場については、それぞれ教職員支援機構ホームページを参照ください。
(教職員支援機構ホームページ：<https://www.nits.go.jp/access/>)
- ・路線バス利用の場合、時間によっては混雑も予想されますので、余裕をもった旅程を検討ください。
- ・施設内の駐車場の利用を希望する場合は、別紙様式 1 によりお知らせください。

＜施設内の駐車場の利用について＞

- ・料 金：1 日あたり 2 2 0 円（前泊する場合は 2 日間分の利用となります）
- ・支払方法：釣銭のないよう用意の上、部会当日の受付時に部会担当者にお支払いください。
- ・その他：希望者へは事前に「駐車場許可証」をメール送付しますので、印刷し、当日フロントガラスに表示してください。

2. 昼食弁当の注文について

現在施設内の食堂は休止中です。希望者には弁当を手配しますので、以下の内容を確認の上、別紙様式 1 により希望の有無をお知らせください。なお、施設周辺にはコンビニエンスストアや飲食店もありますので、各自で準備いただくことも可能です。

- ・販 売 元：株式会社オーガファーム
- ・金 額：550 円（日替わり弁当 1 種類のみ）
- ・支 払 方 法：現金のみの支払い（釣銭のないよう用意ください）
- ・販売場所・方法：後日連絡

※キャンセルの場合は、原則として各部会開催日の 1 週間前までに、教育課程第三係まで連絡ください。

3. 施設内宿泊棟への宿泊について

以下の内容を十分に確認の上、施設内宿泊棟の利用を希望する場合は、別紙様式1により宿泊希望をお知らせください。なお、別紙のとおり、つくば駅周辺の宿泊施設の情報をまとめているので、必要に応じて参照ください。

①宿泊予約について

- ・施設内宿泊棟への宿泊希望は、別紙様式1に基づき、教育課程第三係でとりまとめ、予約を行います。
- ・宿泊は前泊に限らせていただきます。地理歴史部会、又は複数の部会に参加するため連泊を希望する場合、別紙様式1の備考欄に「連泊」と記載してください。
- ・原則として第2・3宿泊棟から優先的に部屋の割り当てを行います。第1宿泊棟を希望する場合は、別紙様式1の備考欄に「第1宿泊棟希望」と記載してください。
- ・各棟定員がありますので、希望者の人数によっては調整させていただく可能性があります。調整を要する場合の連絡は、各都道府県等の連絡担当者を通じて行います。
- ・諸事情によりキャンセルする場合は、原則として各部会開催日の1週間前までに、教育課程第三係まで連絡ください。

②部屋について

以下のとおり、2タイプの部屋があります。

区分	料金(1泊)	広さ	設備
第1宿泊棟	3,300円	8.55㎡(約5畳)	机、イス、ロッカー、ベッド、収納棚、冷蔵庫 ※洗面所及び御手洗いは共用。
第2・3宿泊棟	4,100円	13.5㎡(約8畳)	机、イス、ロッカー、ベッド、収納棚、冷蔵庫、洗面所、御手洗い

※各フロアに給湯室（電子レンジ、電気ポット）があります。

※第1宿泊棟は98室、第2・3宿泊棟は各棟50室です。

※各部屋に風呂、シャワーはありませんので、浴室棟又は第1宿泊棟のシャワー室を使用ください。

※以下の事項について、チェックアウトまでに宿泊者各自で行っていただく必要があります。

- ・寝具類の整理整頓、シーツ類の準備及び返却
- ・各部屋の清掃、机等の消毒（各所に用意してある消毒液を使用ください）
なお、宿泊棟内のシャワー室、給湯室等の共用部分は、教職員支援機構の委託業者が清掃・消毒を行います。

③チェックイン時間等について

- ・宿泊者への鍵の受渡しは19:00～21:00に行います。鍵の受渡し場所は後日連絡します。
- ・外出する場合の門限は22:00となっています。
- ・チェックアウトの時間・方法については、後日連絡します。

④宿泊料金の支払いについて

- ・ 各部会受付時に集金します。連泊する場合も、一日ずつお支払いください。
- ・ 支払いは現金のみです。釣銭のないように用意ください。
- ・ 領収証明書は発行されませんので、貴自治体等の会計処理上、支障がないか確認してください。

⑤各種施設等の利用時間について

施設内の運営状況は下表のとおりです。

食堂, 食堂売店< <u>営業休止中</u> > ※食事会場としては利用可	開放時間 7:00～21:30
宿泊棟談話室<休止中>	
浴室棟	17:30～23:00 (23:00 に施錠) ※ボディソープ、リンスインシャンプー、ドライヤーあり。 <u>タオルは各自持参ください。</u>
シャワー室 (第1 宿泊棟内)	6:30～8:00, 17:30～22:00 ※ボディソープ、リンスインシャンプー、ドライヤーあり。 <u>タオルは各自持参ください。</u>
洗濯棟	7:00～23:00 (23:00 に施錠) ※洗剤は各自準備ください。
自転車の利用 (50 台)	6:00～22:00 ※利用希望者は守衛室で鍵を借りてください。

(別紙)

<参考：つくば駅、研究学園駅周辺の主な宿泊施設>

つくば駅、研究学園駅周辺の主な宿泊施設をまとめましたので、参考添付します。利用の際には、各自で空き状況を確認の上、予約手続きを行っていただくようお願いします。

	宿泊施設名	最寄り駅までの 距離	NITS までの 距離	客室数
1	アーバンホテルつくば (茨城県つくば市筑穂 2-1-2) https://www.urbanhotel.co.jp/	つくば駅 約 8 km	0.4 km	80 室
2	ダイワロイネットホテルつくば (茨城県つくば市吾妻 1-5-7) https://www.daiwaroynet.jp/tsukuba/	つくば駅 約 0.4km	7.2 km	240 室
3	ホテル日航つくば (茨城県つくば市吾妻 1 丁目 1364-1) https://www.nikko-tsukuba.com/	つくば駅 約 0.4km	7.6 km	164 室
4	ホテルつくばヒルズ学園西大通り店 (茨城県つくば市東新井 8-7) https://breezbay-group.com/tsukuba-hills/	つくば駅 約 1.2km	7.6 km	68 室
5	ホテル ルートつくば (茨城県つくば市花室 1145-3) https://www.route-tsukuba.jp/	つくば駅 約 1.5km	9.1 km	78 室
6	ホテルグランド東雲 (茨城県つくば市小野崎 488-1) https://www.hg-shinonome.co.jp/	つくば駅 約 1.6km	7.4 km	115 室
7	ホテルベストランド (茨城県つくば市研究学園 5-8-4) https://www.hotel-bestland.co.jp/	研究学園駅 約 0.1km	6.2 km	110 室
8	東横 INN つくばエクスプレス研究学園駅北口 (茨城県つくば市研究学園 5-13-7) https://www.toyoko-inn.com/index.php/search/detail/00228	研究学園駅 約 0.8km	6.3 km	197 室
9	ホテルワークマンつくば研究学園 (茨城県つくば市研究学園 5-13-5) https://mark-1.jp/tsukuba/	研究学園駅 約 0.8km	6.4km	160 室
10	アパホテル〈つくば万博記念公園駅前〉 (茨城県つくば市島名 4383) https://www.apahotel.com/hotel/syutoken/ibaraki/tsukuba-bampaku-kinenkoen-ekimae/	万博記念公園駅 約 0.7km	10.5 km	172 室

【別紙様式 1】の作成及び提出方法について

1. 【別紙様式 1－1】参加者名簿

(1) 作成について

以下の①～⑪の要領で、別紙様式 1 により参加者名簿を作成すること。

- ① 1 列目には都道府県・指定都市番号を半角数字で、2 列目には都道府県・指定都市名を記入すること。いずれも全員について記入することとし、空白や「」などとはしないこと。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しないこと。
- ② 3 列目にはドロップダウンリストから国立、公立、私立を選択すること。
- ③ 4 列目には氏名を、5 列目にはふりがなを、6 列目には所属及び職名を記入すること。姓と名の間及び所属と職名の間は全角で 1 文字空けること。
- ④ 7 列目にはドロップダウンリストから部会名を選択して記入すること。後日、部会ごとの参加者名簿を作成するため、部会名については必ずドロップダウンリストから選択し、誤りがないよう記載すること。
- ⑤ 8 列目にはドロップダウンリストから参加方法を選択して記入すること。
- ⑥ 9 列目には参加者本人に連絡可能なメールアドレスを記載すること。後日、このメールアドレスに部会ごとの資料等を各部会開催前に電子データで送付するので、必ず参加者本人に連絡できるメールアドレスを記載すること。
- ⑦ 10 列目には特記事項があれば記載すること。

《以下、参集者のみ》

詳細は別添 2 を参照し、記入すること。

- ⑧ 11 列目には、ドロップダウンリストから教職員支援機構施設内の駐車場の利用希望の有無を記入すること。利用希望者は、12 列目に車種・ナンバーを記入すること。
- ⑨ 13 列目には、ドロップダウンリストから昼食弁当の注文希望の有無を記入すること。
- ⑩ 14 列目には、ドロップダウンリストから教職員支援機構施設内の宿泊棟への宿泊希望の有無を記入すること。第 2・3 宿泊棟から優先的に割り当てを行うが、第 1 宿泊棟を希望する場合は、15 列目「備考欄」にその旨記入すること。
- ⑪ 15 列目には、第 1 宿泊棟を希望する場合は「第 1 宿泊棟希望」と、地理歴史部会、又は複数の部会に参加するために連泊を希望する場合は「連泊」と記載するとともに、その他参集に係る特記事項があれば記載すること。

<留意事項>

- 外字は使用しないこと。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルでは当該文字を「？」とし、併せて PDF 化した名簿をメールで送信すること。
- 文字のセンタリングや均等割付、罫線等の装飾は行わないこと。

※ 情報部会については、職業に関する教科の情報部会との合同開催となるため、本様式の提出により、参加者登録を兼ねることとし、職業に関する教科の情報部会については別途参加者登録を行わない。なお、会場が異なるため、情報部会参加者については、11 列目から 15 列目は記載しないこと。

(2) 提出方法について

教育課程課教育課程第三係 (koyoiku@mext.go.jp) 宛てに電子メールで提出すること。

○ 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】高校協議会参加者名簿

＜記入例＞01【北海道（公）】高校協議会参加者名簿

- ・国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】高校協議会参加者名簿

＜記入例＞10【群馬大（国）】高校協議会参加者名簿

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会参加者名簿

＜記入例＞20【長野県（私）】高校協議会参加者名簿

(3) その他

○ 都道府県・指定都市番号について

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県
05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県
09 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県
17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県
29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県
33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県
45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	48 札幌市
49 仙台市	50 さいたま市	51 千葉市	52 川崎市
53 横浜市	54 相模原市	55 新潟市	56 静岡市
57 浜松市	58 名古屋市	59 京都市	60 大阪市
61 堺市	62 神戸市	63 岡山市	64 広島市
65 北九州市	66 福岡市	67 熊本市	

※ 国公立大学法人については、事務局本部が所在する都道府県番号を使用するものとする。

2. 【別紙様式1－2】指定都市教育委員会・各部会参加状況等アンケート

高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会及び高等学校各教科等教育課程研究協議会について、指定都市教育委員会の各部会参加状況等の実情を確認するため、様式内の各項目に回答をお願いします。

教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式 2】
の作成及び提出方法について

1 趣旨

教育課程に関する質問のうち、部会全体で考え方を確認・共有すべき事項がある場合、当日、可能な範囲で精選して回答するものである。

2 作成について

- 別紙様式 2 により、各部会の質問事項をまとめて 1 つのシートで作成すること。
- 所定の欄に、都道府県・指定都市番号（別添 3 参照），都道府県市名・学校名等（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）を記入し、部会名をドロップダウンリストから選択すること。
- 「質問事項」欄には、教育課程に関して文部科学省に質問がある場合は部会ごとに 3 問を限度として簡潔に質問内容を記述すること。なお、質問事項がない場合、提出の必要はない。
- 「考え方」欄には、質問事項について問合せがあった際、どのような回答を行っているかなど、都道府県市等としての考え方を記述すること。

3 提出方法について（質問事項がない場合は提出不要）

教育課程課教育課程第三係（kyoiku@mext.go.jp）宛てに電子メールで提出すること。

○添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】高校協議会質問事項

<記入例> 01【北海道（公）】高校協議会質問事項

- ・国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】高校協議会質問事項

<記入例> 10【群馬大（国）】高校協議会質問事項

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会質問事項

<記入例> 20【長野県（私）】高校協議会質問事項

各部会における提出資料の作成及び提出方法について

1 作成について

- 別添6を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成すること。
- 所定の欄に、部会名、都道府県・指定都市名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）、都道府県・指定都市番号（別添3参照）、担当指導主事名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は参加者名）を記入すること。
- 国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等からの参加者については、作成可能な資料は作成し、提出すること。

2 提出方法について

教育課程課教育課程第三係より、連絡担当者に対してクラウドストレージサービス「Box」へのコラボレータ招待メールを送付する。連絡担当者は、「Box」内の各部会フォルダに提出ファイルを格納し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係(kyoiku@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。ただし、コラボレータ招待への承認ができず「Box」へアクセスできない場合は、提出ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

- ・ 高等学校：<https://mext.box.com/s/hsn4t9l29yjkssnqi2nlvsknzfxv5qlz>

※別途の指定がない限り、部会の協議題ごとに1つのpdfファイル（例：国語部会の協議①で1つのpdfファイル、国語部会の協議②で1つのpdfファイル等）にまとめて提出すること。

- 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】高校協議会提出資料（部会名）

<例>01【北海道（公）】高校協議会提出資料①（国語）

01【北海道（公）】高校協議会提出資料②（国語）

- ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】高校協議会提出資料（部会名）

<例>10【群馬大（国）】高校協議会提出資料①（国語）

10【群馬大（国）】高校協議会提出資料②（国語）

- ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会提出資料（部会名）

<例>20【長野県（私）】高校協議会提出資料①（国語）

20【長野県（私）】高校協議会提出資料②（国語）

※提出資料①②は、それぞれ協議①②の提出資料であることを示している。「その他提出資料」の場合は「その他提出資料」とし、協議の提出資料に併せて提出するよう依頼された補足資料等の場合は「（部会名）」の後にその旨追記すること。

<例>01【北海道（公）】高校協議会その他提出資料（国語）

01【北海道（公）】高校協議会提出資料①（国語）補足資料

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

総則部会

協議①		
	協議題	学習指導要領の趣旨の実現に向けた、教育委員会の施策や学校における組織的な取組の好事例を域内の学校に横展開していくための今後の推進方策について 【取組の観点の例】 ・社会に開かれた教育課程 ・カリキュラム・マネジメント ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・指導と評価の一体化 など
	提出資料	①教育委員会の施策や学校における組織的な取組の好事例、②当該好事例を域内の学校に横展開していくための今後の推進方策について、別紙様式4によりまとめてください。
	作成様式	別紙様式4
	提出資料作成に当たっての留意事項	・各都道府県・指定都市教育委員会等において、これまで実施してきた、①教育委員会の施策や学校における組織的な取組の好事例、②当該好事例を域内の学校に横展開していくための今後の推進方策について、できるだけ具体的に記入してください。 ・①教育委員会の施策や学校における組織的な取り組みの好事例については、様子がわかる資料などがあれば、画像などで示してください。 ・②好事例を域内の学校に横展開していくための今後の推進方策の記入に当たって、具体的な取組が行われている場合には、その内容を記入いただき、そうでない場合には検討状況や考える取組について記入してください。また、課題があれば併せて御記入ください。 ・ページ数の上限はありません。
その他提出資料（協議はしないが、情報共有のみするもの）		
	提出資料	・各都道府県・指定都市教育委員会等において、上記①教育委員会の施策や学校における組織的な取組の関連資料を作成している場合に提出してください。 ・各都道府県・指定都市教育委員会等において、所管する高等学校の令和4年度入学生に係る科目の開設状況をまとめた資料を、可能であれば提出してください。夏の指導主事会の際にご提出いただいた場合は、再度の提出は不要です。
	作成様式	任意様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	・既存の資料をそのまま提出してください。教育委員会のホームページ等に掲載されている場合には、URLを御教示ください。 ・提出資料の1ページ目の余白（原則として資料上部）に、部会名、都道府県・指定都市名（学校名等）及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名
		高等学校学習指導要領（平成30年告示） 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編
		用意しておく箇所
	インターネットでの掲載場所	資料全体
		https://www.mext.go.jp/content/1384661_6_1_3.pdf https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_1.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

国語部会			
協議①			
	協議題		新教育課程における、目標に準拠した、観点別学習状況の評価の改善・充実について① ―「現代の国語」における「話すこと・聞くこと」の学習評価―
	提出資料		協議題を踏まえ、以下の1～3について、それぞれ項目を立て、具体的に記載してください。 1. 貴管下の学校で、指導と評価の一体化が適切に図られて実施されたと考えられる、「現代の国語」の「話すこと・聞くこと」における任意の単元の事例1つ 2. 1. の事例に対する指導主事としての評価 3. 本協議題に関する貴教育委員会等としての管下の学校に対する取組の成果と課題、今後の方針等 ※「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」のいずれの事例を取り上げるかについて明示してください。 ※いずれも別紙様式により、A4判で作成してください(1. についてはページ数自由。2及び3については、まとめて1ページ程度)。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・資料の作成に当たっては、以下の資料を踏まえること。 1. 前回までの指導主事会の行政説明資料や各参加者作成資料 2. 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説国語編」 3. 国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(高等学校国語)」
協議②			
	協議題		新教育課程における、目標に準拠した、観点別学習状況の評価の改善・充実について② ―「現代の国語」及び「言語文化」における「書くこと」の学習評価―
	提出資料		協議題を踏まえ、以下の1～3について、それぞれ項目を立て、具体的に記載してください。 1. 貴管下の学校で、指導と評価の一体化が適切に図られて実施されたと考えられる、「現代の国語」又は「言語文化」の「書くこと」における任意の単元の事例1つ 2. 1. の事例に対する指導主事としての評価 3. 本協議題に関する貴教育委員会等としての管下の学校に対する取組の成果と課題、今後の方針等 ※事例の選定に当たっては、特に、「書くこと」のいずれの学習過程の資質・能力の育成を重点に図るものかを明示してください。 ※いずれも別紙様式により、A4判で作成してください(1. についてはページ数自由。2及び3については、まとめて1ページ程度)。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・資料の作成に当たっては、以下の資料を踏まえること。 1. 前回までの指導主事会の行政説明資料や各参加者作成資料 2. 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説国語編」 3. 国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(高等学校国語)」
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料		・高等学校学習指導要領の周知徹底、教育課程の編成、授業改善等に関して、貴教育委員会等が、学校・教員対象に作成・配付した説明資料等
	作成様式		任意様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		前回指導主事会以降に作成・配付したもののみでよい(学習評価のみの資料を含む)。
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説国語編(系統表含む。)(文部科学省)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20210909-mxt_kyoiku01-100002620_02.pdf https://www.mext.go.jp/content/1407196_23_1.pdf
	②	資料名	「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(高等学校国語)」(国立教育政策研究所)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

公民部会

協議①			
		協議題	公民科における「専門家や関係諸機関等との連携・協働」の推進について
		提出資料	<u>提出資料は不要です。</u> ※当日は、公民科における「専門家や関係諸機関等との連携・協働」について、事例発表後に、協議を行います。
		作成様式	
		提出資料作成に当たっての留意事項	
協議②			
		協議題	公民科における「思考・判断・表現」の評価について
		提出資料	公民科における「思考・判断・表現」の評価について、ペーパーテストによる評価事例及びペーパーテスト以外の評価事例を合わせてA4判1～2ページ程度にまとめてください。
		作成様式	提出様式3 ※共通様式
		提出資料作成に当たっての留意事項	○「ペーパーテストによる評価事例」は、以下の点について簡潔にまとめてください。 ・実際の問題は、別添としてください。（上記で示したページ数には含みません。） ・当該ペーパーテストを実施する単元計画（単元の目標、時間、問いの構造図など） ・設問の意図（含模範解答） ・生徒の解答状況、など ○「ペーパーテスト以外による評価事例」は、以下の点について簡潔にまとめてください。 ・当該評価を実施する単元計画（単元の目標、時間、問いの構造図など） ・評価方法の概要（意図、評価方法、評価時期など） ・生徒の取組状況など（可能であれば、実際の評価物を画像等で示してください。）
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 公民編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_04.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 公民】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_koumin.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

数学部会

協議①			
協議題		“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”の授業事例とその改善	
提出資料		“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”の実際の授業事例を1つ，別紙様式5の項目1～8についてA4判2ページ程度でまとめてください。 【趣旨】“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”の実現は高等学校数学科の授業の根幹であり，学習評価を適切に行っていくうえでも必要不可欠です。しかしながら，その実現の難しさが前回の指導主事連絡協議会でも報告されています。そこでまずは，“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”の実例を共有し，それぞれの改善の方向について協議することで，“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”はどうあるべきかを追究したいと思います。	
作成様式		別紙様式5	
提出資料作成に当たっての留意事項		・できる限り今年度観察・指導助言された授業事例にしてください。なお，数学的活動は以前の学習指導要領から充実を図っているため，今回の事例を高1に限る必要はありません。 ・“おおがかりな”数学的活動のみが対象ではありません。普段から(日常的に)実践可能な数学的活動について協議できればと考えています。 ・多様な生徒層に対する多様な事例が集まるとよいと考えています。 ・授業として「成功」や「失敗」は問いません。授業をどのように評価・改善していくか，どんな授業を追究していくか，どう他の授業に生かしていくか(広げていくか)の協議に主眼があります。 ・学習評価と絡めた授業実践などでもかまいません。	
協議②			
協議題		“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”の一層の充実に向けた課題とその解決に向けた教育委員会としての取組	
提出資料		今年度学校訪問等されるなかで，あるいはこれまでの経験上見出されてきた“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”の一層の充実に向けた課題(難しさ)と，その解決のために貴教育委員会で取り組んでいる，あるいは今後取り組む必要があると考えられる具体的な方策について，A4判1ページでまとめてください。 【趣旨】“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”実現の「難しさ」を明確にし，その解決のための方策を協議し，「難しさ」の解消を1つずつ，協働的に図っていききたいと思います。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・提出資料に関わり，各教育委員会において作成した資料がある場合，Webで公開していれば「提出資料」においてその紹介とともにURLを入れてください。冊子で作成している場合は，その概要(例えば資料の名称等と内容の概要)を「提出資料」において紹介してください。その場合にページ数が増えることは問題ありません。 ・ <u>教育委員会以外の参加者は資料提出は不要です。</u>	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学
		用意しておく箇所	資料全体 データとして手元にあればよい
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_05_1_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 数学】
		用意しておく箇所	資料全体 データとして手元にあればよい
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_suugaku.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

理科部会

協議①			
	協議題		「探究の過程」を踏まえた指導と評価の事例について
	提出資料		「探究の過程」を踏まえた指導と評価の事例について、以下①～③の構成により原則A4判4ページ程度(上限6ページ)で作成してください。 ①「単元の指導と評価の計画」(A4判2ページ程度) ②「授業の概要(学習指導案など)」(A4判1ページ程度) 取り上げた事例が、探究の過程のどの部分を焦点化しているのかを明記してください。 (例:「検証計画の立案」など。) ③「①単元の指導と評価の計画」及び「②授業の概要」を基に、取り上げた「探究の過程」の場面において、どのような資質・能力の育成を目指して、どう学習評価を行うのか、できる限り具体的に記載してください。(A4判1ページ程度)
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか1つの科目を選んで作成してください。なお、ご自身の専門でなくても差し支えありません。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 理科編 理数編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

理数部会

協議①			
	協議題		各地域における教科「理数」の拡充に向けて
	提出資料		各都道府県・政令指定都市などにおいて、「理数」科目の開設を推進していけるよう、今年度開設されている理数探究基礎の事例などを基に、高等学校向けの「説明資料」を作成してください。なお、資料は、以下の内容を含むものにしてください。 ・現状（開設状況や教育課程の編成方法（例えば、1年次は理数探究基礎1単位、2・3年次は理数探究各1単位など）など） ・意義（理数探究基礎や理数探究に取り組む目的や利点など） ・授業の事例 ・各都道府県・政令指定都市などにおける支援の体制や取組（SSH校の成果の普及として考えられる支援も含む）
	作成様式		プレゼンテーションソフト（パワーポイントなど）で作成し、PDFファイルで提出
	提出資料作成に当たっての留意事項		・印刷や共有の都合上、 8スライド で作成してください。 ・スライドのサイズは16:9にしてください。 ・1スライド目は、タイトル・所属・作成者がわかるようにしてください。タイトルは協議題に合わせる必要はありませんので、上記の「説明資料」として適切なタイトルにしてください。 ・2スライド目以降は、上記「提出資料」欄にある内容について記載してください。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 理数編
		用意しておく箇所	資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。）
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_12_1_1_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 理数】
		用意しておく箇所	資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。）
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r040208_hig_risuu.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

保健体育部会

協議①			
	協議題		「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けた指導助言のポイント
	提出資料		科目体育と科目保健それぞれについて、「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けて、指導主事等として指導・助言をする際のポイントを整理し、A4判2ページ程度にまとめてください。 ※指導・助言の機会がない方は、授業を振り返る際のポイントをまとめてください。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たったの留意事項		・「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けて、域内市町村教育委員会や学校等に対する指導・助言をする際のポイント(授業の場面や指導・助言の内容等)について、適宜項目を立て、できるだけ具体的に記載してください。 ・協議会当日は、以下の内容を予定しています。 ①「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けた指導・助言のポイントについて、各グループ内でブレインストーミングなどにより整理する。 ②各グループで指定された『指導と評価の計画』をもとに、①を踏まえて具体的な指導・助言の場面と内容等についてを協議する。 ③②の協議内容について、全体で情報共有する。 ・上記②の『指導と評価の計画』及びグループ編成については、10月下旬頃にスポーツ庁政策課企画調整室からお知らせします。なお、『指導と評価の計画』は、全国都道府県・指定都市教育委員会学校体育担当指導主事研究協議会(9月開催)で作成した資料を用いる予定です。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説保健体育編 文部科学省
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_07_1_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 保健体育 (令和3年8月)国立教育政策研究所
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_hokentaiiku.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術（音楽）部会

協議①			
	協議題		高等学校芸術科(音楽)における「主体的・対話的で深い学び」の視点及び「音楽的な見方・考え方」を手掛かりとした授業改善
	提出資料		各地域における高等学校芸術科(音楽)の授業実践や研修等で効果があった、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や、「音楽的な見方・考え方」を働かせる学習に向けた授業づくりについて、A4判2ページ以内に項目を立ててまとめてください。なお、「主体的・対話的で深い学び」又は「音楽的な見方・考え方」のいずれかでもかまいません。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意)
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料		高等学校芸術科(音楽)に関して新型コロナウイルス感染症対策として、7月の連絡協議会以降、新たに周知したことがあれば提出してください。
	作成様式		任意様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・各学校に通知・配布した資料等をそのまま提出してかまいません。提出用に新たに作成する必要はありません。ただし、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所	芸術科音楽及び音楽科に係る部分
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 芸術(音楽)】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_ongaku.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術(美術, 工芸)部会

協議①			
	協議題		学習指導要領の実施における高等学校芸術科(美術, 工芸)の授業の改善
	提出資料		高等学校芸術科(美術, 工芸)における, (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の改善について (2)授業の改善に向けた研修等の内容について 合わせてA4判2ページ以内に項目を立ててまとめてください。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		(1)学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の改善について ・以下の例を参考に項目を立ててまとめてください。その際, 実践の様子や内容についても記述してください。項目は複数あっても構いません。 (例:[共通事項]を適切に位置付けた題材の設定や指導, 造形的な見方・考え方, 鑑賞の指導内容の充実(例えば, 美術の働き, 美術文化など), 表現と鑑賞の指導の関連, 主体的・対話的で深い学び, 指導と評価の一体化, ICTの活用 など) (2)授業の改善に向けた研修等の内容について ・各都道府県・指定都市において, 授業の改善に向けて行った研修等で効果的であったと考えられる内容等について記述してください。複数でも構いません。 (【例】研修の工夫, 説明会の工夫, 資料の工夫, オンライン研修での工夫など)
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所	芸術編のうち芸術科(美術, 工芸)に係る部分及び美術編
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 芸術(美術), 芸術(工芸)】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	芸術(美術) https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_bijutsu.pdf 芸術(工芸) https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kougei.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術（書道）部会

協議①			
	協議題		学習指導要領の実施と学習評価の改善に向けた取組
	提出資料		以下①②のいずれかまたは両方について、A4判1～2ページ程度でまとめてください。 ①学習指導要領の趣旨を踏まえた実践事例、学習評価の改善に取り組んでいる実践事例等について ②学習指導要領の実施と学習評価の改善に関し、教育委員会等による研修や周知に係る組織的な取組の実施状況と、効果的であったと思われる事例や方法、今後の課題について
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・①の実践事例については、先の連絡協議会でご報告いただいた事例と重複しないようにしてください。特に、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の工夫に取り組んでいる事例、〔共通事項〕を効果的に位置づけている指導の事例、「書に関する見方・考え方」を働かせるための指導の工夫に取り組んでいる事例、ICTを効果的に活用している事例、鑑賞教育における指導の工夫に取り組んでいる事例などがあれば、是非ご報告ください。
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所	書道Ⅰ，書道Ⅱ，書道Ⅲ
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習指導に関する参考資料 高等学校芸術書道
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_shodou.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

外国語部会

協議①

協議題	7月の指導主事連絡協議会で協議した課題に関する進捗状況
提出資料	・7月の指導主事連絡協議会に提出した資料(①～④)に、⑤を赤字で追記してください。 ①地域の課題 ・英語教育実施状況調査の結果等をもとに、各地域での主な課題を焦点化し1つ記述する。 (例) □「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の公表と達成状況の割合 □パフォーマンステストの実施率、またはパフォーマンステストの質の向上 □小中高連携の実施率 □言語活動の充実 ②課題に関わる現状と、課題を解決したと判断する際の目標数値 ③課題の要因 ④課題を解決するために取り組むこと(継続的に取り組んでいることを含む) ⑤④の取組を行ったことによる「成果」と、今後に向けた「課題」
作成様式	7月の指導主事連絡協議会に提出した資料に赤字で⑤を追記
提出資料作成に当たったの留意事項	※⑤の「成果」及び「課題」については、できる限り具体的に記載するようにお願いします。 ※事業や研修の様子、資料等がホームページ等で公開されている場合には、ハイパーリンクを設定したり、二次元コードを記載するなどして、アクセスしやすい形にしてください。

協議②

協議題	「話すこと」、「書くこと」における指導と評価の具体について
提出資料	「話すこと」及び「書くこと」における、パフォーマンステストまたはパフォーマンス評価の好事例(指導内容及びテスト方法または評価方法)を以下の項目立てによりA4判2ページでまとめてください。 ①単元の目標、評価規準 ②指導内容について ※高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料、各事例の「4. テストまでの指導について」にある「授業での活動」を参考に、主な言語活動や主な言語材料等を記載してください。 (リンク: https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf) ③テスト方法または評価方法 ※高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料、各事例の「3. テストについて」を参考に記載してください。 ④好事例として選んだ理由
作成様式	別紙様式6
提出資料作成に当たったの留意事項	なし

その他部会当日に手元に用意しておく持参資料

①	資料名	高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料	
	用意しておく箇所	資料全体	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf	
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(高等学校外国語)」国立教育政策研究所
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_gaikokugo.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

家庭部会			
協議①			
	協議題	高齢者の尊厳と介護について	
	提出資料	高齢者の尊厳と介護についての理解（認知症含む）、生活支援に関する技能に関する実践事例について、以下の項目でまとめてください。 ①事例の成果と課題 ②単元計画（単元目標、単元の評価規準、単元の指導と評価の計画、本時の指導と評価の計画） ※「家庭基礎」の事例は、介助などの基礎的な技能を体験的に身に付けることができるようにしている場面を含むもの。 ※「家庭総合」の事例は、物忘れと認知症の違いについて触れ、認知症の対応方法について理解させる場面を含むもの。	
	作成様式	別紙様式7	
	提出資料作成に当たったての留意事項	・好事例を1つご紹介ください（「家庭基礎」又は「家庭総合」のどちらか1つです。「家庭基礎」、「家庭総合」それぞれ1事例(計2事例)ではありません）。 ・上記①は、別紙様式7の枠内におさまるよう簡潔にまとめてください。 ・上記②は、既存資料を基に、その実践で用いたワークシートも含め、A4判6ページ以内でまとめ、別添により提出してください。 ・上記②の別添資料の様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
協議②			
	協議題	消費者教育の充実に向けて	
	提出資料	家計管理、契約、消費者の権利と責任、消費者保護の仕組みに関する実践事例について、以下の項目でまとめてください。 ①事例の成果と課題 ②単元計画（単元目標、単元の評価規準、単元の指導と評価の計画、本時の指導と評価の計画） ※「家庭基礎」の事例は、家計管理もしくは契約の重要性又は消費者保護の仕組みについて理解させる場面を含むもの。 ※「家庭総合」の事例は、家計管理もしくは消費行動と意思決定については消費生活に関する演習を取り入れ、理解を深める場面を含むもの。	
	作成様式	別紙様式7	
	提出資料作成に当たったての留意事項	・好事例を1つご紹介ください（「家庭基礎」又は「家庭総合」のどちらか1つです。「家庭基礎」、「家庭総合」それぞれ1事例(計2事例)ではありません）。 ・上記①は、別紙様式7の枠内におさまるよう簡潔にまとめてください。 ・上記②は、既存資料を基に、その実践で用いたワークシートも含め、A4判6ページ以内でまとめ、別添により提出してください。 ・上記②の別添資料の様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他提出資料（協議はしないが、情報共有のみするもの）			
	提出資料	令和5年度年間指導計画作成に向けて指導助言したこと	
	作成様式	別紙様式7	
	提出資料作成に当たったての留意事項	・本年7月の「各教科等担当指導主事連絡協議会」の協議結果を踏まえ、研修会や学校訪問等において、学習指導要領の趣旨を実現するためにどのような指導助言を行ったか、別紙様式7の枠内におさまるよう簡潔にまとめて御報告ください。	
その他部会当日に手元 を用意しておく持参資料	①	資料名	「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 家庭編」
		用意しておく箇所	第1部 各学科に共通する教科「家庭」
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_10_1_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 家庭】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_katei.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

情報部会			
協議①			
	協議題	共通教科情報科「情報Ⅰ」の学習指導と学習評価の工夫・改善について	
	提出資料	①共通教科情報科「情報Ⅰ」の学習指導と学習評価の工夫・改善に関し、以下の項目から2つ選び、別紙様式8により各事例1つずつ提出してください。 ・プログラミング ・データの活用 ・情報デザイン ・教科等横断的な視点での取組 ・主体的・対話的で深い学び, 探究的な学び, 個別最適な学び, 協働的な学び ②協議題を踏まえ、以下の1及び2について、別紙様式3により適宜項目を立てA4判1ページ程度でまとめてください。 1. 上記①で提出する各事例に対する指導主事等としての評価 2. 本協議題に関する貴教育委員会等としての管下の学校に対する取組の成果と課題、今後の方針等	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式 別紙様式8	
	提出資料作成に当たったての留意事項	・上記①の事例は、できるだけ具体的に記載ください。 ・上記①の事例は、単元全体について、または、単元の特定の部分に注目してまとめても構いません。 ・ご提出いただいた事例のうち数事例を文科省HP「高等学校情報科特設ページ」に掲載する予定です。（事前に、ご相談いたします。） ※資料の作成に当たっては、以下の資料を踏まえること。 1. 前回までの指導主事会の行政説明資料や各参加者作成資料 2. 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編」 3. 国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(高等学校情報)」	
協議②			
	協議題	「情報Ⅱ」の推進への展望について	
	提出資料	以下の項目を参考に、「情報Ⅱ」の推進への展望について、A4判1ページ以内で簡潔にまとめてください。 ・現在取り組んでいること ・今後取組をしようとしていること、来年度に向けて検討していること	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たったての留意事項	今後の見通しについて具体的に記載してください。 ※夏の指導主事会で提出いただいた内容を踏まえるなどし、具体的に記載をお願いします。	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_11_1_2.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

総合的な探究の時間部会

協議①			
		協議題	域内全ての高等学校で総合的な探究の時間が充実するために、教育委員会として求められる取組について
		提出資料	域内全ての高等学校で総合的な探究の時間が充実するために、各都道府県・指定都市で実施した取組(附属学校等については学校としての取組)について、以下の項目によりA4判1ページ程度でまとめてください。 (1) 具体的な取組事例 (2) 小・中・高等学校間の連携
		作成様式	別紙様式3 ※共通様式
		提出資料作成に当たっての留意事項	・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意)
協議②			
		協議題	「考えるための技法」を活用した授業実践の成果と課題を踏まえ、更なる改善・充実に向けて教育委員会として求められる取組について
		提出資料	「考えるための技法」を効果的に活用した学習活動とするために、各都道府県・指定都市で実施した指導・助言(附属学校等については学校としての取組)について、以下の項目によりA4判1ページ程度でまとめてください。 (1) 授業実践事例の概要(2事例程度) (2) (1)に係る具体的な指導・助言の内容
		作成様式	別紙様式3 ※共通様式
		提出資料作成に当たっての留意事項	・少なくとも「授業実践事例」1事例はICT端末を活用したものとしてください。 ・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意)
その他部会当日に手元を用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407196_21_1_1_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 総合的な探究の時間】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_sougou.pdf

令和4年度高等学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

特別活動部会

協議①

協議題	「学校行事」の指導の工夫について
提出資料	学校行事の指導の工夫について、例えば、「生徒の声を生かした学校行事」、「資質・能力育成に向けたカリキュラム・マネジメントの充実」、「学校行事の精選や重点化」等の視点を踏まえ、これまでに教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例についてA4判2ページまでにまとめてください。
作成様式	別紙様式3 ※共通様式
提出資料作成に当たっての留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。

協議②

協議題	主権者教育の視点を踏まえた特別活動の指導の充実について
提出資料	主権者教育の視点を踏まえた特別活動の充実について、これまでの実践を踏まえ教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例についてA4判2ページまでにまとめてください。
作成様式	別紙様式3 ※共通様式
提出資料作成に当たっての留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。

その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編
			「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 特別活動】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf
	②		https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_tokubetsuk.pdf
		資料名	「私たちが拓く日本の未来」有権者として求められる力を身に付けるために:活用のための指導資料
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.soumu.go.jp/main_content/000815484.pdf